

2017年度
岡山県

クマ狩猟を再開しないで



餌を求めて里に出たら有害だと殺され、山に潜んでいたら狩猟される。僕たちはどうすればいいの？

クマの造る森は保水力豊かな水源の森・災害に強い森です。

被害防除・奥山生息地復元でクマ問題を解決しましょう

—わたしたちと、奥山に実のなる木を植えませんか！—

猟師・行政・県民のみなさんへ

①被害軽減効果なし⇒無用の殺生

岡山県のクマは人工林や奥山開発で生息地を失っています。そのため、原則としてクマは山にはいません。山に潜んでいるクマは貴重なクマです。元来、人間に何の被害も与えません。このようなクマをスポーツハンティングと称して狩猟しても、集落周辺での被害軽減につながりません。無用の殺生です。人道上からも生態系保全上からも問題です。東北のように豊かな森が延々と残っている所と同じようにクマ狩猟を考えるのは、無謀です。

②クマ狩猟はきわめて危険

東北のマタギでさえ先輩に教わって何年も経験し、やっとクマを撃てるようになるのです。それでもクマ狩猟中の猟師の事故は、後を絶ちません。今回の岡山県のクマ狩猟は規制がなさすぎて、誰でも簡単にクマを撃てると錯覚される恐れがあります。銃弾を浴びたクマが反撃に転じたり街に出たりするとケガ人も出ます。岡山県はその時、責任を負えるのでしょうか。

③目撃数・捕獲数激増の原因究明を

集落周辺でのクマの目撃数の激増は、地元にとって大きな問題です。しかし、生息地を失ったクマが、岡山県が言うように狩猟禁止によって爆発増加したのか、私たちには不可解です。イノシシ捕獲罠のヌカや、有害駆除されて多数放置されているシカの死体がクマを誘引している等、人為的な原因が予測されます。真の原因を究明して、取り除くべきです。



一般財団法人 日本熊森協会本部・岡山県支部

本部事務局 (10:00~18:00 水日祝休) 〒662-0042 兵庫県西宮市分銅町1-4

Tel : 0798-22-4190 Fax : 0798-22-4196 E-mail : contact@kumamori.org